

# 令和4年度 第9回（12月）教育委員会定例会 会議録

日 時：令和4年12月19日（月）15時00分～17時00分

場 所：村民センター 小会議室

出席者：教育長 清水 閣成

委 員 教育長職務代理者 清水 道直

薄田 東・出羽澤 和子・田中 博美

事務局：清水 勝宏 教育次長 藤澤 勇 学校教育係長

書 記：池上 博子 以上8名

傍聴人：なし

## 1 開 会

## 2 教育長あいさつ

- ・12月10日（土）、公民館運営審議会・社会教育委員のメンバーで南原公民館にお邪魔し、越後さんからお話をお聴きしたり、地域子ども達・保護者が公民館を居場所としている様子を観させていただいたりしました（資料）。地域の方とのつながりにより約20名のボランティアスタッフが動き、地区公民館を土日の午後開放している様子は、魅力あると感じています。

## 3 報告・確認事項

（1）学校給食センター「愛称」及び 運搬用トラックイラスト審査委員会について  
藤澤係長

※会議資料にて説明。 【会議資料1】

- ・村内の小中学生（含副学籍のある児童生徒）に応募をお願いしていく。
- ・可能であれば、2月の村の日に表彰を行いたい。
- ・学校給食センターの進捗状況について

12月22日（木）に工程会議を予定している。今後のスケジュールについて協議される予定。

（2）新型コロナウイルス感染症に関して

教育長

※会議資料にて説明。 【会議資料2】

- ・12月5日付県教委から県立学校長宛に出されている「通知」に「食事中は、飛沫を飛ばさないよう対面を避けるなど座席の配置を工夫し、大声での会話は控える。」とある。学校の実情に応じて対応をお願いしたい旨、校長会で伝えてある。
- ・学級閉鎖の条件について「欠席者の割合が概ね20%となった場合」とある。30人学級とした場合、概ね6人が感染した場合閉鎖を検討ということになるが、現在の学校・家庭内の感染状況を考えると、6名以内でも感染状況に応じて検討することに努めたい。校長会で確認済。
- ・3校の感染状況について、会議資料を基に説明。

教育委員

- ・濃厚接触者の登校自粛期間は、5日間でよいか。

教育長

- ・現時点ではそう考えている。また、一度り患した児童生徒も家族が陽性となった場合、最終接触を0日として5日間濃厚接触者として登校自粛をお願いしている。

教育委員

- ・通知にある、給食等に関して「学校の実情」とあるが、このことは前向きの座席としても、机の距離ということか。

教育長

- ・そう理解してる。

### (3) 奨学金について

【会議資料3】

清水職務代理者

※会議資料にて説明

○高校の状況（A 高校）

#### ① 進学に関して

- ・3年生で進学希望者の約半数が日本学生支援機構の奨学金へ申請。給付型は数名採用で狭き門(成績+親の経済状況)。
- ・病院からの奨学金：看護師としてある年数勤務すれば返還免除。
- ・社会福祉事業団からの奨学金…介護士として勤務すれば返還免除。
- ・飯島町…ひな鳥奨学金。町の活動に参加してポイントを得て、10ポイントを獲得する、または飯島町に住めば返還免除。

#### ② 高校生活に関して

- ・授業料 32,000 円の内 9,900 円援助は 37%、全額免除は 46%、免除なしが 17%。
- ・入学時に入学金 120,000 円、設備資金 120,000 円、その他経費約 10,000

円必要。県の授業料等軽減制度の適用を受けると入学金が軽減される。(24,500円軽減、半数以上適用)

- 教科書 20,000 円、制服 40,520 円+夏服 21,800 円、運動着 24,200 円等が必要
- 高校生への支援…県の奨学金、地域の奨学金（上伊那はなし）、あしなが奨学金、社協からの援助、東本願寺からの奨学金、卒業生の保護者からの奨学金などがある。
- 県私立高校等奨学金…年 134,600 円～152,000 円（非課税世帯へ給付）

## ○高校の状況（B 高校）

### ① 進学に関して

- 3年生の約3分の1が進学。日本学生支援機構…訳45%申請。給付型は成績と保護者の経済状況によって採用される。ハードルは高い。
- 近年、大学を選ばなければ希望者はほぼ全員進学できる状況である。
- 就職は9月で100%決定。現在も地元企業から社員募集が届いている。
- 大学入学時は入学金、施設資金、授業料前期分、アパート入居料金など100万円～200万円を各家庭で準備する必要がある。奨学金は入学してから月額で支給されるため、大学進学を断念する生徒もいる。
- 奨学金の種類はその他に企業、財団、学校法人などがあるがハードルは高い。
- 貸与型の奨学金は卒業後から月1万円～3万円を、48ヶ月にわたって返還しなければならない。かなり大変であり、返還できない人もいる。
- 様々な奨学金案内は、構内に掲示している。生徒はそれを見て自らweb上で奨学金の種類や返還見通しなどをシミュレーションし、各自で申し込んでいる。

### ② 高校生活に関して

- 長野市は入学金や教材費を就学援助家庭へ支援している。
- 全校生徒の87.5%が授業料免除。
- 入学時…制服、作業着、運動服、教科書など多額の費用が必要。これらの補助は現在はなし。

## 教育長

### ○村社会福祉協議会の状況

- 生活福祉資金の中の「教育支援基金」（貸付制度）  
貸付限度額 高等学校 月 35,000 円 大学 月 65,000 円 等  
対象者 低所得者 償還期間 措置期間経過後 20 年以内
- 高校入学時に 10 万円を借りる家庭が今まで 10 数件あり。

○長野県母子父子寡婦福祉資金貸付 福祉事務所窓口

- ・高等学校 月 27,000 円 大学 私立・自宅外通学 月 146,000 円 等  
償還期間 20 年以内

○古岡奨学金（母子家庭で高校進学希望者） 中学校より情報提供

- ・過去に 1 家庭相談あり

教育委員

- ・日本学生支援機構の給付金に関して、世帯収入の枠をある程度超えた世帯への支援をどう考えるか。

教育長

- ・日本学生支援機構の給付金を使わない場合、世帯収入の枠をある程度超える状況について、〇〇万ではどうか等を整えたいと考える。

教育委員

- ・所得制限がなくて、第 3 子の進学希望者への年額 30 万補助も検討したい。

教育長

- ・以下のことについて検討を重ねていきたい。

- ① 大学進学に関する奨学金
- ② 高校生への入学に際しての支援
- ③ 18 歳以降の児童扶養手当延長・ひとり親家庭への支援

教育委員

- ・大学卒業後、南箕輪に帰ってくる等のことをどう考えるか。条件として、村民の方が納得できるために必要とも考えられる。
- ・奨学金制度はいろいろあり、A 制度と B 制度は併用できない等整理する必要がある。

教育長

- ・奨学金の全体像を整理し、生徒（家庭）の主体性を大事にして村としてはこうしていきます、という方向を考えましょう。総合教育会議等を踏まえ令和 5 年度中には方向を固めたい。

教育委員

- ・了解

(4) 児童・生徒数について

【会議資料 4】

※会議資料にて報告

(5) 事故報告

- ・特になし

(6) 教育委員から

- ・小学校を卒業し、△部に入りたくて村外の口中学校に進学希望の児童がいると聞いているが。

教育長

- ・承知している。住民票を移動するとともに子の監護が保障されること、居住実態が無ければならないことが前提。

(7) 12月議会定例会報告

【会議資料5】

教育次長

※会議資料にて報告

(8) 12月事業報告・1月事業計画について 会議資料6】

教育次長

※会議資料にて報告・確認

(9) 1・2月教育委員会定例会日程について

候補日：1月26日（木） 15時00分～ 村民センター（予定）

2月21日（火） 15時00分～ 村民センター（予定）

(10) その他

① 令和5年「二十歳のつどい」（1月3日） 賀詞交歓会（1月4日）

② 村表彰式表彰者：教育委員会関係

林百代さん（前教育委員） 丸山聡さん（スポーツ推進委員）

久保地区 ゆいの会（地域の伝統文化の継承等）

（有）マシーンエンジニアリング（楽器の寄贈）

4 その他

5 閉会